

第9回 清和台地区学校のあり方を検討する懇話会 議事録

令和8年6月23日 午前10時～

【地域説明会資料について】

＜問＞説明させていただいた地域説明会資料に関してのご意見やご質問、周りの方々の反応などがあれば、お聞かせいただければと思います。

- ・C案で川西養護学校の子どもたちと一緒に学ぶということに関して、実際に学校を見学して、重度の子も多いとわかったため、どこまで一緒にやっていけるのかという疑問も湧いたが、交流の方法を考えながら実施すれば良いと思う。民生委員として他市の施設を視察したが、その地域は小さい頃から障がいのある子どもたちと一緒に生活していた。小さい頃から一緒にいるからこそ、違いを感じずに接していた。C案で進めることは非常に良いことなので、障がいがあってもなくても自分たちと同じだと思えるようにしていきたい。

《教育委員会》

⇒どのような交流をするかは、子どもの状態や保護者・教職員の意向を聞きながら進めていきたい。

校舎としても、何もかも一緒にするのではなく、川西養護学校の子どもたちが個別に活動する場所と交流する場所を分けて作っていく予定である。学校としては併設するが、川西養護学校としては独立した学校であるため、交流しやすい学校運営をしていきたいと考えている。

- ・川西養護学校の見学をしてみて、先に小学校同士を統合し、空いた校舎を仮設校舎にすることは思っていたより難しいと思った。清和台南小学校で考えると、エレベーターがない、体育館が2階にある、川西養護学校はカーペット敷きになっているなど課題が多い。

《教育委員会》

⇒既存の小学校を川西養護学校の仮設校舎として使用する場合、施設改修は大幅に進めていく必要があるが、一から仮設校舎を作るよりは合理的だと考えている。エレベーターについても、避難所になることを踏まえてこれを機会に作っていく。これからどのように作るかは、市長部局や建築を担当する部署にもお願いしている。

⇒先日、議会でも、体育館に空調をつけたばかりなので避難所として残していきたいという市長部局の考えを伝えていた。仮設校舎と言えばプレハブというイメージだったが、空調が効かない、音がうるさいなどの問題もあり、既存の小学校を使う方が環境的に良いと考えている。避難所として残すことを前提にすると、エレベーターやカーペット敷きも無駄にはならないと思う。予算の面でも、既存の学校を活用するより、仮設を作るほうが数倍の予算が必要になるため、終わったら潰す仮設を建てるというのは非常にもったいないと考えている。

- ・小学校を工事して統合し、その後、中学校を工事する2段階より、一度に中学校を工事をして一気にすべての学校が統合する方が工事期間が短くなるということなのか。いずれ中学校に行くのだから、少しでも早く統合できる手段をとって、子どもたちが早く環境に慣れるようにした方が良いのではないかと思った。

《教育委員会》

⇒小学校を先に統合してもしなくても、新校舎の工事期間は全く変わらないため、最終的な開校時期は変わらない。新校舎を工事している期間にそれぞれの小学校で待つのではなく、先に小学校を統合すれば、一緒に過ごすことができるということ。単学級に不安を感じる保護者は、せっかく統合の話を進めているのに、結局自分の子どもが6年間単学級で過ごすことに不安を感じていた。

⇒令和8年12月の地域説明会の際には、先に小学校同士の統合をどうするか決める必要がある。開校に向けた2年間の準備期間を確保するため、このタイミングで決定したいと考えている。先に小学校を統合する場合は、令和11年度に統合して始めることができる。そうなれば川西養護学校の

仮設校舎に係る工事も同時並行して行うことができ、同じタイミングで川西養護学校も仮設校舎へ移動できる。

- ・ 32ページと37ページのスケジュールに、令和11年度に統合することがわかるように入れておくとわかりやすいと思う。

《教育委員会》

⇒「先に小学校だけを統合する」ということは、現時点では検討事項であるため、今回の説明会で決定事項として伝えることは避けた。令和11年度が遅すぎるという意見もあるが、教育委員会としては、必要な段どりを踏まえて、確実な開校時期をお知らせしていく必要があると考えている。

- ・ 情報をオープンにしすぎると困ることはあるか。決めている過程をオープンにしていけば良いのではないか。

《教育委員会》

⇒過程をオープンにするのは問題ない。決定したことと、決まっていなかったが検討事項に挙がっていることを分けて説明していきたい。

- ・ 清和台地区以外の人で、川西養護学校の子どもたちも一緒になる話を聞いて説明会に参加したいという人がいる。今回の話は清和台地区の住民だけで話し合っているが、川西養護学校に関係する方となれば清和台地区以外の人たちも関係することだと思う。説明会には地区外の人に参加しても良いのか。

《教育委員会》

⇒地域説明会のチラシは清和台小及び清和台南小の校区にお住まいの方向けとしているが、川西養護学校の保護者にはミマモルメで学校を通じて説明会の案内をしている。そういった方に知らせる術がないので、個別に連絡いただければ来てもらって構わない。

- ・ 清南小の保護者たちでは、低学年や学校までかなり距離がある子にはスクールバスが必要だが、そもそもバスは必要なのかという意見も一定あった。なくても通えるのではないか。

《教育委員会》

⇒バスのルートや乗車範囲、通学路に関してはまた相談したい。通学距離が伸びることや国道など大きな道を渡ることに抵抗がある保護者も一定数おられたので、運営方法は検討したい。

- ・ 清和台小は校門が急な坂なので、送迎時にどこへ停車すべきか等も検討が必要かもしれない。

《教育委員会》

⇒どんなバスかにもよるが、校内に乗り入れできないのであれば、校門の前に停まることになると思う。そこも踏まえて検討をしていきたい。

《教育委員会より》

川西養護学校の校舎はかなり年数が経っており、備品などは新しいものを導入しているが、古い校舎に後付けしているだけなので、最新の環境にするのは難しい状況である。できれば近隣の特別支援学校の設備を見て、これからの子どもたちにとって活動しやすい学校づくりをしたい。その点については市長も共感している。義務教育学校や小中一貫校についての話をしているが、けやき坂をどのように捉えられるか、ということも大きい問題。今は清和台地区だけで小中一貫にするかどうかという話をしており、けやき坂の住民の意見を聞いていない状態である。来年度、継続して学年が単学級になるところで検討を始めるのが筋だが、情報は早めにオープンにし、考える時間を確保した方が良いのではないかと考えている。可能であれば、懇話会にけやき坂の方にも参加してもらって、一緒に考えていくことが良いと感じている。どのタイミングでこういった手順で入ってもらうのか、けやき坂の保護者にどのように話を聞いていくのか、という問題も並行して検討したい。

- ・ 来年からの説明と聞いていたが、統合してから「けやき坂も一緒になりたかった」と言われると困ると思うので、早めに説明することは良いと思う。川西養護学校の見学をして、新しい校舎は、いろいろと配慮しながら子ども達にとって良いものを作ってほしいと思った。

《教育委員会》

⇒けやき坂小は１年生が単学級になったが、６年生は４学級あるので、まだ小規模化の影響が表面化していないかもしれない。ただ、今後入学してくる１年生は、ずっと単学級の可能性がある。その子どもたちの保護者からすれば不安が大きいと思う。

【今後の進め方について】

《教育委員会》

⇒第３回の地域説明会は７月４日・５日に、今回お見せした資料で説明する。次回第１０回の懇話会は７月下旬～８月上旬に清和台中学校にて開催予定。地域説明会での様子や保護者に個人懇談で聞いた内容を報告する。日程調整に協力をお願いする。